

野地 小百合さん インタビュー

Q 所属する組織内でリーダーシップを発揮し、マネジメント力を養うにあたって、どのように仕事に取り組み、どのような経験を積んでこられたのでしょうか。

A これまでの会社人生を振り返ると、以前の経験を踏まえてより幅の広い仕事に取り組むという、積み重ねができたため、きちんとステップを踏んでキャリアアップさせていただけたと思います。

キャリアのステージを上がることに、責任の重さに戸惑う気持ちと、より大きな仕事に関われる喜びの両方を味わう中で、大切にしてきたことが三つあります。感謝の気持ち、面白いと思うことを見つけてトライすること、そして、ステージごとに求められるスキルを身に付ける努力、です。特に子会社の社長になったときはとても不安でしたが、短期のビジネススクールに通ったりもしながら、マネジメントスキルの向上に努めました。

周囲への感謝の気持ちは尽きません。信頼して任せてくれた上司、私を助けてくれた優秀なスタッフ無くして、今の私は無いと思っています。また、自分自身としては、どんなポジションや仕事であっても、やりがいを見つけ、楽しみたいと思っています。

ハードルは高くなっていきますが、徐々に越えていけば、思ってもみない高さを跳べるようになっていくと実感しています。実際は、越えずにバーを折っているかもしれませんが（笑）。

Q 高くなるハードルを超えていこうとチャレンジする女性への期待や、エールをお願いします。

A 入社後、優秀な先輩女性が結婚や出産で辞めていくことを残念に感じ、「女性が会社で活躍し続けること」は自分自身のテーマとなりました。

価値観が多様化し、かつ先が読みにくくなった現在、多様性は、企業に必須だと痛感しています。女性の活躍は、会社に多様性、ひいてはしなやかな強靭さをもたらすと考えており、経営にとっても大切なことだと思います。後輩のみなさんにも、一人ひとりの価値観や素質・能力に応じた働き方を選択してほしいと考えています。

役職者の醍醐味は、「チームマネジメントのおもしろさ」を経験できることです。チームとして最大限の成果をあげるためにはどうするか、ということを考えるのは非常にやり甲斐があります。この醍醐味を女性の皆さんに是非経験してほしいと思います。

コロナ禍でテレワークや働き方改革が進んだことは、女性にとってチャンスだと思います。ぜひ、一歩踏み出してみてください！